

# 国保税来年度の税率は据置



再整備が検討されている一号線沿いの遊歩道

り軌道敷内の方が狭いため、通学や通勤時間は特に危険なので改善してはどうか。

答 J Rとの協議では現状では踏切の改修は難しく、立体交差が最も好ましいとのことであった。しかし、現在の交通量等からこれも極めて困難かと思われるので、今後は事故の起きないような対策を考えていきたい。

## 国民健康保険について

問 国保税の収納状況及び医療費支出の現況について伺いたい。②また、来年度の予算編成における税負担をどのように考えているか。

答 ①収納額は、現年度課税分と繰越し分を合わせ、現時点で2億8980万5千円であり、調定額4億9026万9千円に対し59%の収納率である。また、医療費の状況については、上半期の6か月分を昨年度の同期と比較すると、一般分と退職者分合わせて4

%の伸びを示しており、下半期についても同程度を予測している。②平成5年度の医療費は8億6千万円と試算しており、税負担は4億円前後を見込んでいる。景気の低迷から8千万円から9千万円の税の不足が生ずるものと思われるが、税率は据置き、基金を取り崩し対応したいと考えている。

## 新年度の予算編成方針

問 平成5年度の予算編成方針について伺いたい。

答 景気の低迷が続くなかで、税収が法人税を中心に落ち込んできており、一般財源の大宗を成す町税や地方交付税に多くは期待できないと考えている。

歳出では、人件費や公債費、一部事務組合の負担金などの義務的経費が年々増加し、加えて生活環境や都市基盤の整備、福祉事業、教育文化など各施策に多額の財源の投入が見込まれており、現在、財政課

で取りまとめているが非常に厳しいものになると思われる。

いずれにしても、現在進行中のスポーツ広場や栗山平和公園の整備などのプロジェクトは計画どおり進めるとし、また、住民生活に密着した道路整備などは可能な限り行っていきたい。

財源が不足した場合、財政調整基金の取り崩しも考えているが、限られた財源のなかで重点事業をしばらくながら、投資効果が十分得られるような予算の編成に努めたい。

## 1号線用水路の道路利用

問 横芝小学校南側の1号線用水路を改修し道路として利用しては。また、北側道路の幅員が狭いため歩道を狭めてはどうか。

答 地価が高騰するなかで将来的にはこのようなことも考えていく必要があると思う。

北側道路については、交通量も多いことから車道と歩道の間を設置してある緑石を撤去し、そして南側の遊歩道をさらに整備するような内容で現在検討している。